

I. 2020年度事業活動骨子

1-1 JACE を取り巻く概況

2020 年の日本経済は新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により悪化した。新型コロナウイルス感染拡大抑制のための外出制限や自粛、渡航制限の導入に伴い、観光や宿泊、航空など、人同士が接点を持つ対面サービスでは前例のない規模で需要が縮小したが、一方ではオンライン消費や巣ごもり消費の拡大のように新たな消費活動は活発になった。

イベントを取り巻く業界に目を転じると、こちらも新型コロナウイルス感染症により、電通発表の 2020 年 1 月～12 月の日本の広告費は 6 兆 1,594 億円（前年比 88.8%）で東日本大震災の 2011 年以来、9 年振りのマイナス成長となった。媒体別では、インターネット広告費 2 兆 2,290 億円（前年比 105.9%）が 1996 年の推定以来一貫して成長を続けているが、マス 4 媒体＜新聞・雑誌・ラジオ・テレビ＞広告費は 2 兆 2,536 億円（前年比 86.4%）と 6 年連続の減少となった。また、「イベント・展示・映像ほか」も、3,473 億円（前年比 61.2%）と同様のマイナス成長となった。「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会」をはじめとする多くのイベント・展示会が新型コロナウイルス感染症の影響により、延期・中止になった事によるものだ。

JACE 自身の調査研究活動である「イベント産業規模推計」において、2020 年のイベント産業は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受けて、イベント関連産業＜広告・制作会社、イベント専門企業などイベントを主業としている業種および警備業、人材派遣業などイベントを売上げの一部としている業種・業態＞の産業規模は 3,847 億円（前年比 42.9%）、さらに、イベント周辺産業＜音楽コンサート、演芸・スポーツ興行団など娯楽・エンタメ産業＞までも含めた規模は 1 兆 1,954 億円（前年比 45.7%）とイベント産業規模は大幅に減少した。

また、イベントカテゴリー毎の来場者の消費額を調査している「イベント消費規模推計」においてもイベントの全体消費規模金額は 8 兆 6,649 億円（前年比 49.5%）と 2012 年度に実施したパイロット調査開始以降で初めて大きく減少した。カテゴリー別では、消費規模の大きい順に、興行イベント 2 兆 6,613 億円、文化イベント 1 兆 6,628 億円、フェスティバル 1 兆 3,921 億円、スポーツイベント 1 兆 0,764 億円、会議イベント 9,038 億円、見本市・展示会 4,952 億円、販促イベント 4,717 億円、博覧会 14 億円となっていますが、どのカテゴリーでも減少している。なかでも、会議イベントは前年比 40.5%、興行イベントは前年比 43.5%、スポーツイベントが前年比 44.2%と大きな影響を受けた。一回のイベントに対する来場者消費額も 20,774 円（前年比 82.2%）と減少したが、会議イベント 17,626 円（前年比 46.5%）、スポーツイベント 25,880 円（前年比 65.5%）は大きく減少し、本調査においてもイベントをビジネスとする企業群が大きなダメージを受けたことを示している。今回からオンラインイベントに関する意識についても新たに調査項目に加えた。今回の調査対象者では、「音楽アーティストのライブ」で 2020 年のオンラインイベントの参加率は 17%程度あり、参加意向は 32%となっている。次いで「観劇」や「エンターテインメント性の高いショー」でも 20%程度の参加意向となっている。オンラインイベントのイメージは「移動時間が節約

できる」、「交通費や宿泊費が節約できる」が55%を超えており、オンラインイベントの特性を活かしたイベントへの参加がWith コロナの環境において急速に進んでいることが見受けられる。

第7回を迎えた「JACE イベントアワード（後援：経済産業省）」のエントリー作品にも、新型コロナウイルス感染症対策を十分に講じたイベントやリアルとオンラインを組み合わせたハイブリッドイベントなど新たな形式にチャレンジした作品が多数応募されている。With コロナの環境下で、企業が社会課題解決にチャレンジするイベントや最新テクノロジーの利活用などにより来場者の感動をさらに増幅させるなどイベントは新たな領域を拡大していくフェーズになったと考えられる。

日本イベント産業振興協会 は With コロナで特にデジタルテクノロジーにより大きく変化していくイベントを再認識・再定義すると共に、改めてイベントならではの「人が集まる」という臨場感、同時性という特徴、その結果「人の心を動かす」というエモーショナルな価値を提供する手法という原点を捉え直して、今後も活動を行っていく。

当年度の収支の概要は以下のとおりである。

- 経常収入の合計は 59,203 千円となり、対前年 6,330 千円の減（予算差▲1,077 千円）となった。
- 経常費用の合計は 60,116 千円となり、対前年 4,911 千円の減（予算差▲1,594 千円）となった。
- 2020 年度の税引き前当期経常増減額は 983 千円の収支赤字（予算差 447 千円）となり、税引き後の正味財産の期末残高は 33,549 千円となった。

1-2 2020 年度協会主要な事業活動

2020 年度の協会事業活動に関して以下の項目にて、2020 年 6 月に書面により第 12 回定時総会にて主要活動として以下の項目を活動内容として報告及び議決された。

1-2-1 事業方針

当協会の 2020 年度事業方針を以下の通り定め、具体的な施策は以降に述べる。

ポスト新型コロナウイルス禍を見据えた事業を目指す。

- (1) イベントおよびイベント産業全体の客観的分析
- (2) イベント価値の再認識、再定義および発信
- (3) 他業態・他業種との連携の促進
- (4) イベント産業の人材の獲得・育成
- (5) イベントのコンプライアンスの確保

1-2-2 協会の現状

当協会は、イベントビジネスに携わる様々な業種の企業を正会員としている。

2020年3月10日の日本政府による新型コロナウイルス感染による緊急事態指定、3月24日の「2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会」の延期発表によりイベント産業は大きな影響を被った。その環境下において、イベント産業の隅々までへの多面的な支援策、官主導で新たなイベント需要の創出、将来的な取り組みとしてのガイドラインへの協力に向けて、経済産業省への提言・要望が求められる。

イベントのプロフェッショナル人材の育成では、イベント業務管理士資格制度に取り組んでおり、新型コロナウイルス感染症の影響下にあった昨年度においてもイベント業務管理士及びイベント3検定（イベント、スポーツイベント、ユニバーサルイベント）の受験者数の安定期な増加が重要である。また、近年大きく環境変化しているスポーツを取り巻く現状に即したスポーツイベント検定テキストについては改定のタイミングとなっている。

会員社間の交流については、新型コロナウイルス感染症による環境変化を前向きにとらえて、オンラインによるセミナーの開催、賀詞交歓会など新たな試みへの検討が急務となっている。

1-2-3 会員事業及び協会運営

従来の元請けからはじまるビジネス商流に加え、イベントを新たな事業フィールドとして捉え「業界を取り巻くポジティブな環境」が続くことを前提に、新たな会員の獲得を目指す。この数年、新たな会員は資格取得による資格者増に結びつく傾向が高いため、正会員と賛助会員の入会促進は最重要であることに変わりはない。

① 会員事業

現在60社の正会員企業を中期計画目標70社へ増やす。そのためには、後述の調査研究事業、JACE イベントアワード、セミナー等を中心とした普及啓発事業を積極的に展開する。従来からのイベント関連団体のみならず、広告関連団体など諸団体との連携を進めることで協会の認知拡大を進める。また、大学・専門学校における学生獲得競争が進む中、授業でテキストを活用して学生に対してイベント3検定の資格取得を推進していくメリットをアピールすることで賛助会員（現在21法人）を増やす。

② 協会運営

正会員の参画による委員会と部会の活動をオンラインの活用も含めて積極的に展開する。

③ 事務局運営

従来通り正会員企業からの出向者を中心にした運営体制を継続する。

1-2-4 人材育成事業

イベント業務管理士、イベント3検定ともに新型コロナウイルス感染症による環境下においても受験者は伸びつつあるが、デジタルテクノロジーを活用したオンラインによる新たなイベント形式の出現や2025年大阪・関西万博に向けて想定される環境変化を踏まえて資格試験実施だけではなく、資格取得者向けのセミナー開催や資格者交流も含めた活動を行う。

① 資格事業（イベント業務管理士1・2級）

イベント業務管理士2級試験を年2回（7月、11月）実施する。7月の試験は、東京・大阪の2会場、11月は、東京・大阪の2会場に加えて、札幌・仙台・新潟・名古屋・福岡の計7会場とすることで、イベント業務管理士1級の受験資格者増加を図る。

2021年2月のイベント業務管理士1級試験に関しては、東京、大阪、札幌の3会場で実施する。

② 検定事業（イベント、スポーツイベント、ユニバーサルイベント）

受験機会の充実を図るため、東京・大阪は年2回（7月、11月）、札幌・仙台・新潟・名古屋・福岡を加え、年1回（11月）の全国7会場で試験を実施する。

1-2-5 調査研究事業

イベント実施の目的・手法の多様化、プレイヤーや裾野の拡大という現状を踏まえ、イベント産業の全体像を俯瞰し、その将来像や課題を明らかにするため、「イベント産業規模推計」及び「イベント消費規模推計」の更新継続調査を行う。

① イベント産業規模推計

JACEでは業界団体としての立場から「イベント産業の個別のデータを積み上げる」ことを基本に様々な調査・分析手法を用いてイベント産業の規模を推計したものを2018年に発表したものが初であったが、2019年以降、イベント産業規模の精度をより高めるために、推計方法に改善を加えながらとりまとめて報告を行う。

② イベント消費規模推計

2012 年度に再スタートさせた来場者消費調査の報告書（イベント消費規模推計報告書）は、生活者のイベント消費金額に加えて、近年増加傾向にある「オンラインイベント」に対する参加有無・意向、イメージを聴取する項目を追加する。

1-2-6 普及啓発事業

① JACE イベントアワード

2020 年 11 月からエントリーの受付を開始し 2021 年 3 月に締め切られた第 7 回 JACE イベントアワードは、最優秀賞 経済産業大臣賞(日本イベント大賞)及びイベントプロフェッショナル賞を 2021 年 6 月 17 日に発表する。

② 会員企業&イベント業務管理士を対象としたセミナー、説明会

リアルなセミナーばかりではなく、オンラインセミナーを積極的に開催する。また、学生や行政なども参加可能なセミナーを開催しイベント業界全体の広報にも活用する。

③ 交流

協会のプレゼンス向上や資格受験者層の領域拡大および会員増強に資するよう、経済産業省、JETRO、イベント関連団体等との連携を一層強化するとともに、広告関連団体や各種関係団体等との交流を拡大促進する。

④ 広報

協会ホームページや電子メール、プレスリリースによる適宜の情報発信を維持しつつ、広報委員会による企画の施行と効果検証を行う。

II. 2020年度事業活動報告

2-1 新型コロナウイルス感染症拡大への対応

- ・ 経済産業省商務情報政策局 商務・サービスグループ クールジャパン政策課から、新型コロナウイルス感染症の拡大によるイベント業界への影響調査の要請があり、一部会員社へヒアリングした結果を 3 月に報告。4 月には協会として独自に緊急アンケート調査を全会員者に対して実施し、クールジャパン政策課へイベント業界の厳しい現況を報告。
- ・ 6 月 22 日、JACE とイベント学会会長の連名による「新型コロナウイルス感染症対策に向けたイベント産業からの要望書」を経済産業省に提出した。要望骨子は以下の 3 点。
 - <要望 1>裾野の広いイベント産業の隅々までへの多面的な支援策を要望します。
 - <要望 2>官主導で、新たなイベント需要の創出を要望します。

<要望3>将来的な取り組みとしてのガイドライン作りへの協力を要望します。

- ・「イベント再開に向けての基本方針・ガイドライン」策定を目的に委員会を立ち上げ、経済産業省と協働しながら早期の基本方針・ガイドライン策定を目指すガイドライン策定ワーキンググループを設置し、9月19日に発表。2021年1月15日に1月7日に出された緊急事態宣言を踏まえ一部改訂を行った。

【ガイドライン策定ワーキンググループメンバー】

共栄セキュリティーサービス、サピエント、JTB、セレスポ、丹青社、テー・オー・ダブリュー、電通ライブ、乃村工藝社、博報堂プロダクツ、フロンティアインターナショナル（社名50音順）

- ・協会WEBサイトのトップページ最上段に「新型コロナウイルス感染症にかかわる関連情報」を新設。下記3つのコンテンツを掲出し、最新情報への更新を継続中。

「新型コロナウイルスによる主要なイベント中止・延期情報」

「JACE 会員各社への緊急アンケート（4月末実施）報告」

「経済産業省の支援策と他省庁関連ページ」

2-2 主な協会活動

新型コロナウイルス感染症により従来からの活動に加えて新たな活動を会員社の協力を得て実施した。また、会議体は大半がオンライン開催となった。

2-2-1 総会

総会は、定款第20条の規程にもとづき代表理事石井直が社員全員に対して社員総会の目的である事項について提案書兼報告書を発し、社員全員から書面による同意の意思表示を得て当該議案の決議が成立した。

●第12回定時総会

提 案 日 2020年6月 1日（月）

議 決 日 2020年6月16日（火）

議決権を有する総社員数63名

この議決権の数63個

【 議題 及び 報告事項 】

議題1．2019年度事業報告の件

議題2．2019年度決算報告書承認の件 <第1号議案>

議題3．理事選任（案）承認の件 <第2号議案>

2-2-2 理事会

理事会の活性化と審議の深耕のため毎回7割超の理事ご本人の出席及びオンライン参加を得て開催のうえ業務執行理事より詳細な業務報告および議案の審議等を行った。

●第35回理事会

第35回理事会は、定款第35条の規程にもとづき代表理事石井直が理事及び監事全員に対して理事会の目的である事項について提案書兼報告書を発し、理事全員から書面による同意の意思表示を、監事全員から書面による異議がない旨の意思表示を得て当該議案の決議が成立した。

提 案 日 2020年5月19日（火）

議 決 日 2020年5月26日（火）

理事総数 24名

監事総数 2名

【 議題 及び 報告事項 】

議題1. 2019年度決算報告書承認の件 ≪第1号議案≫

議題2. 2020年度事業計画・収支予算(案)承認の件 ≪第2号議案≫

議題3. 2020年度「第12回定時総会」開催承認の件

※第12回定時総会に引き続き開催予定であった第36回理事会は開催中止となった

●第37回理事会

日 時 2020年11月17日（火）16:00～16:40

場 所 東京グリーンパレス地下1階 ふじの間

参加人数 理事総数24名のうち出席20名、監事総数2名のうち出席1名

【 議題 及び 報告事項 】

議題1. 職務執行状況報告の件

議題2. 会員入会 承認の件 ≪第1号議案≫

議題3. 理事会の次回開催と今後のスケジュール

●第38回理事会

日 時 2021年2月17日（水）

実施形態 電磁的方法(メール)による報告資料の提出

【 報告事項 】

『第38回理事会向け報告資料 pdf.』及び『2019年イベント産業規模推計 & 2020年中間推計（資料編）』による職務執行状況の報告

●第39回理事会

日 時 2021年3月16日(火) 16:00~16:45

実施形態 Zoom ウェビナーによるオンライン開催

参加人数 理事総数24名のうち出席21名、監事2名

【議題 及び 報告事項】

議題1. 職務執行状況報告の件

議題2. トピックス：スポーツイベント検定公式新テキストについて

議題3. 今後の主なスケジュール

2-3 会員事業及び協会運営

2-3-1 会員事業

正会員60社(3社減)、賛助会員21法人(1法人増)と計81法人と2社減。
(賛助会員新規2法人 学校法人滋慶学園、学校法人武庫川学園)

※2021年4月1日現在

2-3-2 協会運営(正会員社の参画による委員会活動)

① 総務委員会 委員長 若松正人(丹青社)

協会の運営を円滑に進行する実施機関として総務委員会を理事会の直前に全てオンラインにて3回開催した。

●第1回 2020年11月10日【議題 及び 報告事項】

☐ 業務執行状況の報告

1. 協会運営について
2. 人材育成事業について
3. 普及啓発活動について
4. 調査研究事業について
5. 広報活動について

☐ 第37回理事会の議案について 賛助会員2社の新入会員承認

☐ 今後の主なスケジュール

●第2回 2021年1月12日【議題 及び 報告事項】

☐ 業務執行状況の報告

1. 人材育成事業について
2. 普及啓発事業について
3. 調査研究事業について
4. 広報活動について

- ☐ 会員社の近況報告（総務委員会出席者様より各 2 分程度）
- ☐ JACE 賀詞交歓会のオンライン開催について
- ☐ 今後の主なスケジュール

●第 3 回 2021 年 3 月 09 日【議題 及び 報告事項】

- ☐ 業務執行状況の報告
 1. 人材育成事業について
 2. 普及啓発事業について
- ☐ JACE オンライン年始ご挨拶ご報告
- ☐ 今後の主なスケジュール

② 人材育成委員会 委員長 間藤芳樹（マッシュ）

以下の主な項目において、随時、開催した。

- ・ 2020 年度試験運営/試験問題/採点/可否
- ・ 試験対策セミナー検討
- ・ スポーツイベント検定テキスト改訂作業状況確認
- ・ 認定校内試験運営
- ・ 受験者増に向けた施策検討（会員や賛助会員からの協力呼びかけ、広報活動、受験料見直しなど）

③ アワード部会 部会長 石阪太郎（電通ライブ） アドバイザー 宮本倫明（Landa）

新型コロナウイルス感染症拡大によりイベントが延期・中止により、作品応募数が減少する事が懸念される中、アワード部会メンバーが積極的な活動を行う事で自薦のみならず他薦作品をエントリーしていく活動を行った。また、第 7 回の作品応募からリアルとオンラインによるハイブリッドイベント、オンラインのみでのイベントも応募の対象とし、開催されているイベントの拡がりに対応するようにした。また、第 6 回イベントアワード実施報告書作成等、経済産業省への報告・連絡業務も行った。

【アワード部会メンバー】

ADK クリエイティブ・ワン、ジェイアール東日本企画、JTB、新東通信、セレスポ、大日本印刷、丹青社、テー・オー・ダブリュー、東急エージェンシー、凸版印刷、日本イベント業務管理士協会、乃村工藝社、博報堂、博報堂プロダクツ、フルハウス、マッシュ、ムラヤマ、UDジャパン（社名 50 音順）

④ 安全委員会、広報委員会、市場調査部会＜産業＞、市場調査部会＜消費＞、セミナー部会、GSYs&EXPO 部会等

随時、オンライン会議やメール連絡等で運営を行った。

2-4 人材育成事業

スポーツイベント検定テキストについては、スポーツを取り巻く環境が大きく変化していることを鑑み、改訂版を作成した。

2-4-1 資格事業 イベント業務管理士 1 級・2 級

① イベント業務管理士 2 級試験

例年通り、7 月と 11 月の 2 回、実施した。前期試験は 2020 年 7 月 4 日に東京・大阪の 2 会場で、後期試験は 2020 年 11 月 14 日に札幌・仙台・新潟・東京・名古屋・大阪・福岡の計 7 会場で実施した。

3 か年の推移でみると、テキスト改定前の 2018 年の 2 級受験者は 310 名、テキスト改定後の 2019 年は 297 名、2020 年は、新型コロナウイルス感染症によるキャンセルにも関わらず、400 名が受験（前年比 134.7%）し、347 名が合格した。（合格率 86.8%）

② イベント業務管理士 1 級試験

2 級合格者を対象とした 1 級試験は、2021 年 2 月 13 日に東京・大阪・札幌の 3 会場で実施した。受験者数は 75 人、合格者は 51 人（合格率 68.0%）であった。

2019 年度は新テキストでの初めての試験で 97 名が受験であったが、2020 年度は、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言により、受験を辞退した方もあり、対前年 22 名減となった。

新型コロナウイルス感染症の影響で一部、試験対策セミナーは中止としたが、試験は安全対策を取り、全て予定通り実施した。

③ イベント業務管理士 1 級・2 級新規登録・資格更新

新規登録

2020 年度の新規登録対象者は 1 級 2 級合わせて 398 名で、392 名が登録した。

内訳は、1 級 51 名全員登録（登録率 100%）、2 級は 347 名のうち 341 名（登録 98.3%）が登録。これにより、1 級@13,000 円×51=663,000 円、2 級@10,000×341=3,410,000 円、合計 4,073,000 円の収入があった。

資格更新

イベント業務管理士には、3 年ごとに更新手続きを実施している。

2020 年度の資格更新は、1 級 546 名が対象で、446 名（更新率 81.7%）が更新手続きを行った。2 級は、対象 167 名のうち、95 名（更新率 56.9%）が更新手続きを行い、1 級 2 級合わせて 541 名の更新手続きにより、6,748,000 円の収入があった。

※ 1 級の登録・更新料は単価 13,000 円、2 級の登録・更新料は単価 10,000 円

2-4-2 検定事業

イベント・スポーツイベント・ユニバーサルイベントの3検定は、イベント業務管理士2級試験とダブル受験が出来るように、イベント業務管理士2級試験と同日(午前/検定、午後/イベント業務管理士2級)に実施した。

前期試験は2020年7月4日に東京・大阪の2会場、後期試験は2020年11月14日に札幌・仙台・新潟・東京・名古屋・大阪・福岡の7会場で実施した。

賛助校からは、新型コロナウイルス感染症の影響で学校内カリキュラムの中での試験が難しいことから、JACEで実施する一般会場での試験を促した事にもより、2020年度は一般会場での受験者が増えた。

① イベント検定

一般会場受験336名(前年比160.8%)、賛助校10校/198名(前年比77.0%)、合計534名(前年比114.6%)がイベント検定を受験し、417名(前年比122.6%、合格率78.1%)が合格した。

② スポーツイベント検定

一般会場試験67名(前年比124.1%)と賛助校9校/177名(前年比256.5%)、合計244名(前年比198.4%)が受験し、115名(前年比115%、合格率47.1%)が合格した。

賛助校の人数増加が著しいが、三幸学園グループ内の東京リゾート&スポーツ専門学校ほか5校で2020年度から学校内試験をスタートしたことが増加の要因である。

③ ユニバーサルイベント検定

一般会場試験で48名(前年比123.1%)が受験し、46名(前年比121.1%)が合格した。(合格率95.8%)。受験数を増やすべく、イベント業務管理士に受験を推奨している。

2-4-3 教育(セミナー)事業

2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、前期6月に予定していた試験対策セミナー4件と、10月に実施予定のイベント業務管理士2級札幌会場1件、2021年1月予定の札幌・東京・大阪の1級試験対策セミナーを中止とした。今後のオンラインセミナー導入に向け、札幌で3名を対象としたオンラインセミナーを無料で実施したところ、好評であったため、実施に向けて今後も継続して検討していきたい。

受講者数は、10月実施のイベント業務管理士2級試験対策セミナーは、東京34名、大阪19名、合計53名(前年比79.1%)。

3検定のセミナーは、後期のみ実施で37名(前年比41.6%)が受講した。

受講料は、1 級・2 級が 25,000 円（会員 22,500 円）、3 検定受講料 7,000 円（会員 6,300 円）となっており、協会の事業収益に寄与している。今後の課題としては、遠方からも誰でも安心して参加できるオンラインでのセミナーや、試験対策のための問題集の作成を検討していきたい。

2-5 調査研究事業

2-5-1 イベント産業規模推計

2020 年 12 月 18 日に、業界団体の立場から「イベント産業の個別の売上げデータを積み上げる」ことを基本に様々な調査・分析方法を用いて、2019 年のイベント産業規模を 2 兆 5,511 億円（前年比 113.6%）と発表した。また、2020 年のイベント産業の規模に関しては速報として 50%減の見通しとした。2020 年のイベント産業規模の最終報告値は 2021 年 5 月発表。

2-5-2 イベント消費規模推計

2020 年 6 月に、2019 年イベント消費規模推計報告書において「イベントの全体消費規模金額」は 17 兆 4,890 億円（前年比 100.8%）と 8 年連続で上回った事を発表した。2020 年度に関しては、コロナ禍により増回しているオンラインイベントの参加有無、参加意向、イメージ等を加えて新たなイベントの方向性を探る調査実施し、2021 年 6 月 17 日にリリース発表。

2-6 普及啓発事業

2-6-1 JACE イベントアワード

2020 年 6 月 10 日に、表彰式は行わず受賞作品の発表のみが行われた「第 6 回 JACE イベントアワード」（後援：経済産業省）は、自薦 75 他薦 72 合計 147 作品の応募があり、全ての選考会に関してはオンラインで実施した。

＜最優秀賞 経済産業大臣賞（日本イベント大賞）＞はドローンで異次元になったで賞「TOKYO MOTOR SHOW 2019 FUTURE DRONE ENTERTAINMENT “CONTACT”」、イベント業務管理士が選ぶ＜イベントプロフェッショナル賞＞はファクトリーでアートで賞「えひめさんさん物語＜アーティスト in ファクトリー＞」が受賞し、特別賞は「ラグビーワールドカップ 2019」、優秀賞は 5 作品が受賞した。

また、普及啓発及び第 7 回アワード作品応募促進を目指した「第 6 回 JACE イベントアワード報告会」を 2020 年 12 月 15 日にオンラインで開催し、約 300 人が参加した。

「第7回 JACE イベントアワード」は、コロナ禍によるイベントの開催環境を考慮して、オンラインのハイブリッドイベント、オンラインのみのイベントも新たに選考作品とした。2021年3月9日に応募が締め切られ、作品応募総数は136作品（自薦84作品、他薦52作品）であった。一次選考会及び最終選考会を経て、6月17日の発表に向けて審査進行中である。今回もリアルな会場での表彰式は実施しないが、今後、報告会は実施する予定である。

2-6-2 会員企業&イベント業務管理士を対象としたセミナー説明会

2020年度は下記のセミナーを開催した。

■ 「第6回 JACE イベントアワード報告会」(オンライン)

2020年12月15日(火) 14:00~17:30

参加者 約300人

登壇者: (発表順)

① 最優秀賞 経済産業大臣賞

TOKYO MOTOR SHOW 2019 FUTURE DRONE

ENTERTAINMENT “CONTACT”

株式会社電通ライブ 竹中 悠満 様

② 特別賞 ラグビーワールドカップ2019 日本大会

元公益財団法人ラグビーワールドカップ2019組織委員会

事務総長代理 鶴田 友晴 様

③ 優秀賞 トヨタ防災給電プロジェクト

〜クルマでライトアップ2019〜

株式会社博報堂 深澤 拓哉 様、永渕 雄也 様

④ 優秀賞 Restaurant Sans Chef 〜シェフのいないレストラン〜

株式会社博報堂ケトル 畑中 翔太 様

⑤ 優秀賞 STAGE:0 eSPORTS High-School Championship 2019

株式会社電通 金原 玄樹 様

⑥ 優秀賞 南座新開場記念『京都ミライまつり2019』

松竹株式会社 野間 一平 様

⑦ 優秀賞 NIKKEI BLEND

株式会社電通 志村 和広 様

■ JACE セミナー 「イベント業界の今、これからの未来予測」(オンライン)

2021年3月25日(木) 14:00~15:00

参加者 約500人

パネリスト：（会員社 50 音順）

・株式会社ADKクリエイティブ・ワン アクティベーション本部
アクティベーション・プロデュース局 グループ長・ルーム長
加藤 千尋 様

・株式会社電通ライブ
デザイン&テクニカルユニット ユニット長
浦橋 信一郎 様

・株式会社東急エージェンシーエクスペリエンスクリエイションセンター
プロモーションデザイン局 エンターテインメントプロデュース部
担当部長
山岸 一基 様

・株式会社博報堂プロダクツ
イベント・スペースプロモーション事業本部 本部長補佐
奥本 聡 様

2-6-3 交流

① イベント関連団体

●イベント学会

■2020 年 11 月 7、8 日

第 23 回研究大会「コロナ禍への危機対応と、ウィズ&ポストコロナ時代
におけるイベントロジーの展望」

東京会場 東京ポートシティ竹芝 ポートスタジオ

名古屋会場 THE TOWER HOTEL NAGOYA

大阪会場 ホテルソビアル なんば大国町

●展示会関連団体連絡会

（経産省、JETRO、日展協、日本電機工業会・展博委員会）

■2020 年 11 月 6 日 連絡会 @オンライン

■2021 年 3 月 5 日 連絡会 @オンライン

尚、イベント業務管理士協会(JEDIS)、日本イベント協会 (JEVA)、
日本ディスプレイ業団体連合会、東京ディスプレイ協同組合等については
コロナ禍のためメール等での情報交換が中心であった。

② 広告関連団体

- 2020 年 7 月 16 日 連絡会 WEB 会議
- 2020 年 9 月 25 日 連絡会 WEB 会議
- 2020 年 12 月 18 日 連絡会 WEB 会議
- 2021 年 1 月 6 日 2021 年広告界合同年賀会<中止>
- 2021 年 3 月 19 日 連絡会 WEB 会議

③ その他（賀詞交歓会等）

6 月の定時総会後の懇親パーティー及び JACE イベントアワードの受賞パーティーに関しては新型コロナウイルス感染症拡大により中止となった。また、7 月に予定されていたゴルフコンペに関しても 2020 年度は中止とした。

1 月に予定されていた賀詞交歓会については、年初から再発出された緊急事態宣言を踏まえてオンラインによる「JACE 年始ご挨拶」を開催し、来賓ご挨拶を経済産業省俣野課長から頂き会員社に対して配信を行った。

2-6-4 広報

① 協会HP・メールマガジンによる情報発信

2020 年度は、タイムリーにオウンドメディアである協会 HP にて「What's New」情報公開をするとともに、「JACE-メルマガ」にて会員企業及び資格者 2,500 名以上の登録者に向けダイレクト発信した。

- What's New(4/08) 新型コロナウイルス感染症に関する当協会の対応について
- What's New(4/15) JACE コーポレートサイト・システムメンテナンスのお知らせ
- JACE メールマガジン(4/20) 本日 4/20 に開催した「輸送連絡調整会議（第 12 回）」について
- What's New(4/24) 「第 6 回 JACE イベントアワード」一次選考通過作品を発表！
- JACE メールマガジン(4/24) 【都知事からのお願い】さらなる出勤抑制を！「いのちを守る STAY HOME 週間」（4 月 25 日～5 月 6 日）
- JACE メールマガジン(4/28) 新型コロナウイルス感染症の発生により申告・納付が困難な場合に おける国税の取扱いに関する周知広報について
- What's New(5/21) 「第 6 回 JACE イベントアワード」優秀賞(部門賞)発表！
- JACE メールマガジン(6/01) 東京都の事業継続緊急対策（テレワーク）助成金の申請受付期間延長について
- JACE メールマガジン(6/08) パートナシップ構築宣言
- JACE メールマガジン(6/09) 国内旅行の解禁に際してご協力をお願い
- What's New(6/10) 第 6 回 JACE イベントアワード「最優秀賞 経済産業大臣賞」「イベントプロフェッショナル賞」「特別賞」が発表になりました！

- What's New(6/10) 「2019 年国内イベント消費規模推計」発表。
イベント市場規模は 17 兆 4,890 億円（前年比 100.8%）
- What's New(6/16) 事務局の業務時間変更のご案内
- What's New(6/25) イベント業務管理士 2 級試験の受験票を発送します
- JACE メルマガ (7/02) 新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）ならびに公共交通機関を利用する際の感染予防対策について
- JACE メルマガ (7/07) 家賃支援給付金について
- What's New(7/14) イベント業務管理士 2 級資格試験・合格者の発表
- What's New(7/16) 第 12 回イベント業務管理士 2 級・試験受付開始
～全国 7 会場での開催決定～
- What's New(7/22) 夏季休業のお知らせ
- JACE メルマガ (7/27) 夏季の省エネルギーの取組について
- JACE メルマガ (7/29) 8 月 1 日以降における催物の開催制限について
- What's New(9/25) 新型コロナウイルス感染予防対策 基本対策・ガイドライン
- JACE メルマガ (10/02) 「公共サービス改革基本方針」の見直しに関するご意見について
- JACE メルマガ (10/22) 海外との人の往来に関する説明資料及び Q&A について
- What's New(11/05) イベント業務管理士 2 級資格試験対策セミナー 終了！
- What's New(11/05) イベント業務管理士 2 級試験の受験票発送
- What's New(11/05) イベント業務管理士 1 級試験申し込み開始
～東京・大阪・札幌での開催決定～
- JACE メルマガ (11/05) 冬季の省エネルギーの取組について
- What's New(11/20) 第 7 回 JACE イベントアワード応募受付を開始しました。 2020 年度の優秀なイベントを選出、表彰する『JACE イベントアワード』皆様からの幅広い応募をお待ちしております。
- What's New(11/25) イベント業務管理士 2 級試験・合格発表
- JACE メルマガ (12/01) 新型コロナウイルス感染症対応休業支援金・給付金に関する周知
- What's New(12/09) JACE セミナー「第 6 回 JACE イベントアワード報告会」ご案内
- What's New(12/10) 年末年始休業のお知らせ
- JACE メルマガ (12/23) 平成三十二年東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会特別措置法等の一部を改正する法律施行に伴う祝日の移動について
- What's New(1/05) イベント業務管理士 1 級 試験対策セミナー中止のお知らせ
- What's New(1/15) 新型コロナウイルス感染予防対策 基本方針・ガイドライン改訂
- What's New(2/01) イベント業務管理士 1 級試験の受験票を発送しました

- JACE メルマガ (2/18) 新型インフルエンザ特別措置法等の一部を改正する法律の施行について
- JACE メルマガ (2/22) 緊急事態宣言の延長を踏まえた職場における新型コロナウイルス感染症への感染予防及び健康管理について
- What's New(3/05) イベント業務管理士 1 級 試験終了のお知らせ
- What's New(3/05) 2021 年度試験概要
- What's New(3/17) イベント業務管理士 1 級試験 合格発表
- What's New(3/24) 2021 年 4/1「スポーツイベント検定公式テキスト」が発刊されます
- JACE メルマガ (3/31) 2022 年度卒業・修了予定者等の就職採用活動に関する要請について

② 資格・検定試験の情報発信

■ イベント業務管理士試験関連 (協会 HP による展開)

- 2020.04.15 JACE コーポレートサイト システムメンテナンスのお知らせ
- 2020.06.25 「イベント業務管理士 2 級」試験の受験票を発送します
- 2020.07.14 第 13 回「イベント業務管理士 2 級」試験 合格発表
- 2020.07.14 第 14 回「イベント業務管理士 2 級」試験申し込み開始
～全国 7 会場での開催決定～
- 2020.11.05 イベント業務管理士 2 級 試験対策セミナー終了！
- 2020.11.05 「イベント業務管理士 2 級」試験の受験票発送
- 2020.11.05 「イベント業務管理士 1 級」試験申し込み開始
～東京・大阪・札幌での開催決定～
- 2020.11.25 第 14 回「イベント業務管理士 2 級」試験 合格発表
- 2021.01.05 イベント業務管理士 1 級 試験対策セミナー 中止のお知らせ
- 2021.02.01 「イベント業務管理士 1 級」試験の受験票を発送しました
- 2021.03.05 「イベント業務管理士 1 級」試験終了
- 2021.03.05 2021 年度試験概要
- 2021.03.17 「イベント業務管理士 1 級」試験 合格発表
- 2021.03.24 2021 年 4 月 1 日、スポーツイベント検定公式テキストが発刊されます

■ 検定試験関連 (協会 HP による展開)

- 2020.02.28 2020 年試験スケジュール
- 2020.06.25 「イベント検定」「スポーツイベント検定」「ユニバーサルイベント検定」～試験の受験票を発送します～
- 2020.07.14 第 28 回 イベント検定 合格者発表
- 2020.07.14 第 14 回 スポーツイベント検定 合格者発表
- 2020.07.14 第 11 回 ユニバーサルイベント検定 合格者発表

2020.07.14	2020 年 3つの検定試験 後期受付開始～全国7会場での開催決定～
2020.11.06	「イベント検定」試験対策セミナー終了
2020.11.06	「スポーツイベント検定」試験対策セミナー終了
2020.11.06	「ユニバーサルイベント検定」試験対策セミナー終了
2020.11.06	「イベント検定」「スポーツイベント検定」「ユニバーサルイベント検定」～試験の受験票を発送しました～
2020.11.24	第29回 イベント検定 合格者発表
2020.11.24	第15回 スポーツイベント検定 合格者発表
2020.11.24	第12回 ユニバーサルイベント検定 合格者発表
2021.03.05	2021 年度試験概要発表

③ 「宣伝会議」コラム掲載

月刊「宣伝会議」のイベント情報コラムの連載を継続

- 2020 年 01 月号：JACE がイベント産業の規模調査を発表
関連産業含め、売上高は約 2 兆 2878 億円
- 2020 年 02 月号：「世界一のファンがいた」
ラグビーワールドカップ 2019 日本大会が閉幕
- 2020 年 03 月号：新国立でオープニングイベントが開催
五輪はじめ、各種イベントで“感動”を生む場所へ
- 2020 年 04 月号：ゴールデン・スポーツイヤーズ
2 年目から見る注目ポイント
- 2020 年 05 月号：業界を直撃した新型肺炎
五輪開催の可否は 5 月下旬にも判断
- 2020 年 06 月号：五輪の延期が決定
再カウントダウンは 1 年 3 カ月
- 2020 年 07 月号：新型コロナウイルスがイベント業界に与えた影響 (1)
～ 私たちが日常の活動を取り戻す日はいつか？～
- 2020 年 08 月号：「第 6 回 JACE イベントアワード」の受賞作が発表
日本を盛り上げたイベントを振り返る
- 2020 年 09 月号：世界的スポーツイベントがもたらす膨大な経済効果
東京 2020 の開催は実現可能か
- 2020 年 10 月号：大阪・関西万博、2025 年につながる一步
アフターコロナ時代に開催される意味とは
- 2020 年 11 月号：ウィズコロナのもとで開催するイベントの現状
安心・安全の確保が重要事項に

- 2020 年 12 月号：Go To キャンペーン事業で日本はどう変化するのか
「新しい日常」の先にあるものを考える
- 2021 年 01 月号：次世代に向けて進化を模索するイベントコロナ禍の変化を
チャンスに転じられるか
- 2021 年 02 月号：イベント業界のコロナ禍を振り返る
2020 年イベント産業規模の推計は前年比 50%
- 2021 年 03 月号：コロナ禍でイベントを開催する難しさ
あえてライブで公演する使命感とは

2-7 環境省「熱中症予防対策に資する効果的な情報発信に関する検討会」への参画

2018 年度より東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催時における熱中症対策に向けて、JACE は上記検討会に参画している。委員会メンバーは、JACE 以外には、東京都医師会理事、救命救急医等である。また、オブザーバーとして、内閣官房、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会、東京都、地方行政も参画している。

2020 年度には、本検討会は 4 回開催（全てオンライン）された。また、6 月 16 日に 1 都 8 県において「熱中症警戒アラート（試行）」の発表があり該当地域では運用が開始された。尚、2021 年夏から全国で本格運用が開始される予定である。

以上

2020年度 財務諸表

貸借対照表

令和 3年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資 産 の 部			
1 流 動 資 産			
現金・預金	23,258,740	23,352,350	△ 93,610
未収金	4,170,697	5,687,317	△ 1,516,620
前払金			0
貯蔵品	7,101,587	3,509,374	3,592,213
流動資産合計	34,531,024	32,549,041	1,981,983
2 固 定 資 産			
(1) そ の 他 固 定 資 産			
建物附属設備	173,094	287,554	△ 114,460
什器備品	316,437	40,503	275,934
電話加入権	599,872	599,872	
商標権		1	△ 1
ソフトウェア		308,728	△ 308,728
敷金	1,811,012	1,811,012	
その他固定資産合計	2,900,415	3,047,670	△ 147,255
固定資産合計	2,900,415	3,047,670	△ 147,255
資産合計	37,431,439	35,596,711	1,834,728
II 負 債 の 部			
1 流 動 負 債			
未払金	3,622,959	536,967	3,085,992
預り金	6,100	3,524	2,576
未払法人税等	70,000	70,000	
未払消費税等	183,100	453,500	△ 270,400
流動負債合計	3,882,159	1,063,991	2,818,168
負債合計	3,882,159	1,063,991	2,818,168
III 正 味 財 産 の 部			
1 一 般 正 味 財 産	33,549,280	34,532,720	△ 983,440
正味財産合計	33,549,280	34,532,720	△ 983,440
負債及び正味財産合計	37,431,439	35,596,711	1,834,728

正味財産増減計算書

令和 2年 4月 1日から 令和 3年 3月 31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経 常 増 減 の 部			
(1) 経 常 収 益			
① 受 取 入 会 金	(10,000)	(90,000)	(△80,000)
受 取 入 会 金	10,000	90,000	△ 80,000
② 受 取 会 費	(24,650,000)	(24,360,000)	(290,000)
正 会 員 受 取 会 費	22,320,000	21,960,000	360,000
賛 助 会 員 受 取 会 費	2,330,000	2,400,000	△ 70,000
受 取 特 別 会 費	0	0	0
③ 事 業 収 益	(34,178,588)	(40,718,661)	(△6,540,073)
人 材 育 成 事 業 収 益	32,163,085	35,583,032	△ 3,419,947
調 査 研 究 事 業 収 益	411,717	727,379	△ 315,662
普 及 啓 発 事 業 収 益	1,603,786	4,408,250	△ 2,804,464
④ 雑 収 益	(363,905)	(363,905)	(21)
受 取 利 息	289	268	21
雑 収 益	363,637	363,637	0
経 常 収 益 計	59,202,514	65,532,566	△ 6,330,052
(2) 経 常 費 用			
① 事 業 費			
事 業 経 費	(39,596,527)	(43,478,621)	(△3,882,094)
臨 時 雇 賃 金	198,716	111,992	86,724
会 議 費	36,583	937,870	△ 901,287
旅 費 交 通 費	163,859	1,398,845	△ 1,234,986
通 信 運 搬 費	1,480,538	994,203	486,335
消 耗 品 費	65,837	61,637	4,200
印 刷 物 作 成 費	4,394,902	3,408,535	986,367
諸 謝 金	1,264,504	2,066,150	△ 801,646
委 託 費	20,728,117	17,616,405	3,111,712
図 書 費	6,480	16,600	△ 10,120
広 報 費	300,000	300,000	0
会 場 費	9,256,964	14,278,579	△ 5,021,615
減 価 償 却 費	308,728	788,349	△ 479,621
賞 典 費	1,330,000	1,430,000	△ 100,000
雑 費	61,299	69,456	△ 8,157
事 業 費 計	39,596,527	43,478,621	△ 3,882,094
② 管 理 費			
給 与 手 当	1,979,530	1,601,500	378,030
法 定 福 利 費	432,968	482,255	△ 49,287

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
福 利 厚 生 費	170,050	292,248	△ 122,198
会 議 費	331,461	1,305,419	△ 973,958
旅 費 交 通 費	370,368	713,664	△ 343,296
通 信 運 搬 費	1,416,421	1,395,935	20,486
消 耗 品 費	533,843	732,146	△ 198,303
印 刷 物 作 成 費	232,200	265,600	△ 33,400
リ ー ス 料	3,099,728	2,343,540	756,188
諸 謝 金	1,259,000	1,357,300	△ 98,300
委 託 費	1,138,699	2,059,925	△ 921,226
会 費	702,000	702,000	0
慶 弔 費	2,500	65,319	△ 62,819
支 払 手 数 料	146,000	138,095	7,905
租 税 公 課	2,351,393	1,984,955	366,438
減 価 償 却 費	183,726	301,771	△ 118,045
水 道 光 熱 費	567,599	650,187	△ 82,588
賃 借 料	5,320,000	4,840,000	480,000
修 繕 費		81,000	△ 81,000
雑 費	281,940	235,679	46,261
管 理 費 計	20,519,426	21,548,538	△ 1,029,112
経 常 費 用 計	60,115,953	65,027,159	△ 4,911,206
評価損益等調整前当期経常増減額	△913,439	505,407	△1,418,846
評 価 損 益 等 計	0	0	0
当 期 経 常 増 減 額	△913,439	505,407	△1,418,846
2 経 常 外 増 減 の 部			0
(1) 経 常 外 収 益			0
経 常 外 収 益 計	0	0	0
(2) 経 常 外 費 用			0
① 固 定 資 産 除 却 損	(1)	(1)	(0)
固 定 資 産 売 却 損	1	1	0
経 常 外 費 用 計	1	1	0
当 期 経 常 外 増 減 額	△ 1	△ 1	0
税引前当期一般正味財産増減額	△913,440	505,406	△1,418,846
法人税、住民税 及び 事業税	70,000	70,000	0
当期一般正味財産増減額	△983,440	435,406	△1,418,846
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	34,532,720	34,097,314	435,406
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	33,549,280	34,532,720	△ 983,440
Ⅱ 指 定 正 味 財 産 増 減 の 部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	0	0	0
Ⅲ 正 味 財 産 期 末 残 高	33,549,280	34,532,720	△ 983,440

財 務 諸 表 に 対 す る 注 記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却方法
定額法によっている。

(2) 消費税等の会計処理
消費税の会計処理は、税抜方式によっている。

2. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	1,370,000	1,196,906	173,094
什器備品	741,276	424,839	316,437
商標権	209,000	209,000	0
ソフトウェア	5,851,752	5,851,752	0
合 計	8,172,028	7,682,497	489,531

今年度事業計画の立案にあたって

イベント産業界として「With コロナ/After コロナ時代のイベント」を構築

- 新型コロナウイルス禍の先行きの不透明感は継続
 - ・全国民へのワクチン接種が本格化するなど、感染拡大に歯止めがかかる動きが見られるが、いまだその猛威、脅威は続いている
 - さらなるイベントの安心・安全の強化
- 新しい時代に対応した新たなイベントの姿が求められている
 - ・新型コロナウイルス対策を契機とした、イベントのデジタル化の進展
 - ・イベント業界として SDGs、サステナビリティへの取り組みが要請されている
 - 新しい時代、新しい生活様式にあわせてイベントの再定義が必要
- イベントおよびイベント産業のプレゼンスアップが急務
 - ・クライアントや生活者に After コロナ時代のイベントの価値や魅力をアピール
 - ・イベントのデジタル化に対応した、イベント業界としてのデジタル人材の確保
 - JACE が核となって、イベント及びイベント産業について、より積極的に情報発信

<前提としての考え方>

「JACE 創立 30 周年ステートメント」より

イベントの持つライブな魅力が求められる時代。

JACE は、多種多様な広がりを見せるイベント業界の進むべき方向を見定め、その健全な発展を牽引するアクティベーターとなります。

新時代のイベントを見据えた事業

1. イベントおよびイベント産業全体の客観的分析

イベント実施の目的・手法の多様化、プレイヤーや裾野の拡大という現状を踏まえ、イベントの定義、領域分析、市場規模把握などを通じて、イベント産業の全体像を俯瞰し、その将来像や課題を明らかにする。

＜具体的事業＞

- ・「イベント産業規模推計」の更新継続調査、発表
- ・「イベント消費規模推計」の更新継続調査、発表
- ・イベント産業に影響を与える問題に対するタイムリーかつ機動力のある調査の実施



- ・イベント産業の見通し、問題点・課題の把握 → JACE の事業への反映
- ・イベントの新領域、新たなプレイヤーの掌握 → JACE 会員拡大への反映

2. イベント産業としてのデジタル活用の促進

デジタル技術のイベントの企画・形態・演出・展示などイベント運営の効率化への活用を促進するために、デジタル関連業態・業種との交流、JACE 内へのデジタル関連情報提供を行う。

＜具体的事業＞

- ・デジタル活用したイベントの類型化、体系化
- ・デジタル関連産業、企業との連携
- ・東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会および 2025 年大阪・関西万博をゴールとしたイベントへのデジタル技術活用の実証



- ・イベントへのデジタル活用に関するセミナーの開催
- ・イベントアワードでのデジタル活用視点の導入
→ イベントへのデジタル活用を奨励

3. イベント産業としての SDGs、安心・安全、コンプライアンスへの取り組み

コロナ禍を契機として強化されたイベントの安心・安全へのさらなる取り組み、イベントの企画・設営・撤去、実施運営の各段階における SDGs への取り組み、コンプライアンスの確保について、JACE として指針の策定などに取り組み、イベント産業の社会的地位の向上の一助とする。

＜具体的事業＞

- ・環境変化に応じた「安全ノート」の改訂
- ・イベント業務における SDGs の取り組みに関するガイドラインの作成



- ・イベントの安心・安全、SDGs への対応に向けた啓発活動
 - 各種検定テキストへの反映、簡易パンフレット、セミナー開催、JACE ホームページでの展開
- ・関連官公庁と連携したイベント発注者・受注者の安全・安心意識の啓発・向上・義務化
 - イベント業務管理士資格との関連性強化

4. イベント価値の再認識、再定義および発信

コロナ禍終息後のイベント産業の V 字回復のために、改めて新しい時代のイベントの価値を再認識、あるいは再定義をし、そのイベントの魅力をイベント産業界内、クライアント企業、生活者に幅広く発信。あわせて、ポストゴールデンズスポーツイヤーズ、2025 のイベントのタネを模索。

＜具体的事業＞

- ・イベントの理論武装、イベント価値の再定義
- ・新たなイベントテーマを検討



- ・新たなイベント価値のアピール、機能拡大を目指して
 - JACE ホームページのリニューアル
 - JACE 内外に向けたイベントの魅力をアピールするセミナーの開催
 - 新たなイベント価値、イベントビジネスを意識したイベントアワードでの新たな審査項目視点の導入

5. イベント産業への新たな業種・業態および人材の流入・獲得・育成

イベント産業の活性化のために、イベントに関連する垂直連携、イベント周辺産業との水平連携の縦横2方向での連携をリードするとともに、

デジタル人材などこれからのイベント産業を支える優秀な人材の獲得のための情報発信、資格制度を核に据えたイベント人材の獲得・育成に取り組む。

＜具体的事業＞

- ・ イベント産業への新たな業種・業態の流入促進
- ・ イベント産業への人材の流入・獲得
 - リクルーティングを意識した学生に対するアプローチ施策
 - 特に、今後重要性を増すデジタル人材へのアプローチ
- ・ イベント産業の人材育成・定着
 - イベント業務管理士資格の強化（国家資格化など）
 - イベント検定の拡大 ～ 積極的広報、学生へのアプローチ

■ JACE の組織強化

＜具体的事業＞

- ・ JACE の広報強化
 - JACE ホームページの改訂、JACE からの発信物の見直し、改訂
 - イベントアワードの積極的活用 ～セミナー展開 など
- ・ イベントに参入または関連する他業態、他業種への J A C E 参加促進
 - JACE 会員社の裾野の拡大 ～自治体、メディアなどへのアプローチ
 - JACE 主催のオープンセミナーの開催&招待
 - イベント業界情報の積極的発信 ～イベント産業規模推計、イベントアワード など
 - 異業種団体、関連団体との積極的交流 ～会員の相互乗入れの促進
- ・ イベント検定資格取得者の活性化
 - 資格取得者のメリット強化 ～イベント業務資格士の公的資格化 など
 - 資格更新率を向上させるための資格者向けオンラインセミナーの実施
 - 資格取得者の個人情報保護対策

以上

2021年度 収支予算(案)

2021.05.18

□事業収支	事業収入	事業費用	収支差額
1. 人材育成事業	36,350,000	24,250,000	12,100,000
① イベント業務管理士1級	11,800,000	6,500,000	5,300,000
② イベント業務管理士2級	12,300,000	6,800,000	5,500,000
③ イベント検定	8,400,000	5,300,000	3,100,000
④ スポーツイベント検定	2,850,000	2,000,000	850,000
⑤ ユニバーサルイベント検定	1,000,000	1,250,000	-250,000
⑥ テキスト改訂	0	0	0
⑦ 事業共通費(講師育成・普及ツール等)	0	2,400,000	-2,400,000
2. 調査研究事業	400,000	6,000,000	-5,600,000
① イベント消費規模推計調査	400,000	5,200,000	-4,800,000
② イベント産業規模推計調査	0	800,000	-800,000
③ その他調査研究	0	0	0
3. 普及啓発事業	4,150,000	11,650,000	-7,500,000
① 顕彰(アワード第7回表彰、第8回募集費用)	1,500,000	6,600,000	-5,100,000
② セミナー	1,000,000	1,000,000	0
③ 交流(賀詞交歓会、広告界年賀会)	1,650,000	1,650,000	0
④ 広報(ホームページ改修整備対策)	0	2,400,000	-2,400,000
4. 委員会運営	0	1,000,000	-1,000,000
①委員会・部会運営	0	1,000,000	-1,000,000
□事業収支 計	40,900,000	42,900,000	-2,000,000

	会費等収入	管理費支出	収支差額
■会費・管理費	25,110,000	23,110,000	2,000,000
新)入 会 金	90,000		
新)正会員会費	540,000		
既)正会員会費	21,600,000		
既)賛助会員会費	2,520,000		
雑 収 入	360,000		
給 料 手 当		2,000,000	
法定福利費		500,000	
福利厚生費		300,000	
会 議 費		1,400,000	
旅費交通費		400,000	
通信運搬費		1,400,000	
消 耗 品 費		550,000	
印刷作成費		250,000	
委 託 費		2,500,000	
リ ー ス 料		2,300,000	
諸 謝 金		1,300,000	
会 費		700,000	
慶 弔 費		50,000	
支払手数料		150,000	
租 税 公 課		2,350,000	
減価償却費		200,000	
水道光熱費		600,000	
賃 借 料		5,760,000	
修 繕 費		100,000	
雑 費		300,000	
■□経常収支合計	66,010,000	66,010,000	0